

事務事業マネージメントシート

作成日 平成28年 04月 28日

事務事業名	真岡鐵道利用支援事業				担当	健康福祉部 いきいき高齢課 高齢者福祉係
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				電話番号	0285-83-8195
施策名	5 高齢者の自立と社会参加の支援				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名						
法令根拠					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和57年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費	3.老人福祉費		
事業概要	<p>・市内の老人クラブ会員が、真岡鐵道を利用して他市町(芳賀町を含む)の福祉施設(温泉、憩の家)等を相互利用する際の鉄道運賃を助成することにより、真岡鐵道の利用促進を図る。</p> <p>・市内の老人クラブを20班に分けて、年1回ずつ実施する。</p> <p>・各駅からの移動は町有バスを利用するため、1回当たりの利用者数は、町有バス(中型)の定員40人までとする。</p>					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移																																															
27年度実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(実績)</th><th>28年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 実施回数</td><td>回</td><td>21</td><td>21</td><td>21</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr> <td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	ア 実施回数	回	21	21	21	20	20	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)																																										
ア 実施回数	回	21	21	21	20	20																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
28年度計画 前年度と同様																																																
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移																																															
老人クラブ、真岡鐵道	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(実績)</th><th>28年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 老人クラブ会員数</td><td>人</td><td>3,141</td><td>2,893</td><td>2,759</td><td>2,683</td><td>2,583</td></tr> <tr> <td>イ 募集定員数</td><td>人</td><td>840</td><td>840</td><td>840</td><td>800</td><td>800</td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	ア 老人クラブ会員数	人	3,141	2,893	2,759	2,683	2,583	イ 募集定員数	人	840	840	840	800	800	ウ							エ							オ						
名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)																																										
ア 老人クラブ会員数	人	3,141	2,893	2,759	2,683	2,583																																										
イ 募集定員数	人	840	840	840	800	800																																										
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 高齢者の社会参加と真岡鐵道の利用促進を図る。	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(実績)</th><th>28年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア この事業を利用した老人クラブ会員数</td><td>人</td><td>665</td><td>692</td><td>649</td><td>657</td><td>800</td></tr> <tr> <td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	ア この事業を利用した老人クラブ会員数	人	665	692	649	657	800	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)																																										
ア この事業を利用した老人クラブ会員数	人	665	692	649	657	800																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 高齢者の自立と真岡鐵道の収入増加を図る。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>単位</th><th>24年度(実績)</th><th>25年度(実績)</th><th>26年度(実績)</th><th>27年度(実績)</th><th>28年度(見込)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 利用者数 / 老人クラブ会員数</td><td>%</td><td>21.2</td><td>23.9</td><td>23.5</td><td>24.9</td><td>31.0</td></tr> <tr> <td>イ 真岡鐵道運賃</td><td>千円</td><td>619</td><td>589</td><td>619</td><td>648</td><td>609</td></tr> <tr> <td>ウ 利用者数 / 募集定員数</td><td>%</td><td>79.2</td><td>82.4</td><td>77.3</td><td>82.1</td><td>100</td></tr> <tr> <td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	ア 利用者数 / 老人クラブ会員数	%	21.2	23.9	23.5	24.9	31.0	イ 真岡鐵道運賃	千円	619	589	619	648	609	ウ 利用者数 / 募集定員数	%	79.2	82.4	77.3	82.1	100	エ							オ						
名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)																																										
ア 利用者数 / 老人クラブ会員数	%	21.2	23.9	23.5	24.9	31.0																																										
イ 真岡鐵道運賃	千円	619	589	619	648	609																																										
ウ 利用者数 / 募集定員数	%	79.2	82.4	77.3	82.1	100																																										
エ																																																
オ																																																
(2) 総事業費の推移																																																
投 入 量	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)																																										
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0																																										
	県支出金	千円	0	0	0	0																																										
	地方債	千円	0	0	0	0																																										
	その他	千円	0	0	0	0																																										
	一般財源	千円	619	589	619	648																																										
	事業費計(A)	千円	619	589	619	648																																										
人件費	正規職員従事人數	人	1	1	1	1																																										
	延べ業務時間	時間	50	50	50	50																																										
	人件費計(B)	千円	210	203	211	210																																										
	トータルコスト(A)+(B)	千円	829	792	830	858																																										
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	昭和57年に、真岡線存続運動の開始にあわせて始まった。																																															
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	真岡線が廃止されたため、現在は真岡鐵道の支援として行っている。																																															
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?																																																

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡鐵道と各福祉施設の相互利用の推進は、高齢者の社会参加の支援に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡鐵道と各福祉施設の相互利用の推進、高齢者の社会参加の推進は、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 全老人クラブ会員が対象であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 受入れ施設や送迎バスの乗車定員等の制限があり、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 真岡鐵道の利用促進と高齢者の社会参加の支援は、市政の重要な柱の一つであるため、廃止・休止は難しい。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は真岡鐵道の運賃のみであり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で事務処理をしているため、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全老人クラブ会員が対象であり、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		